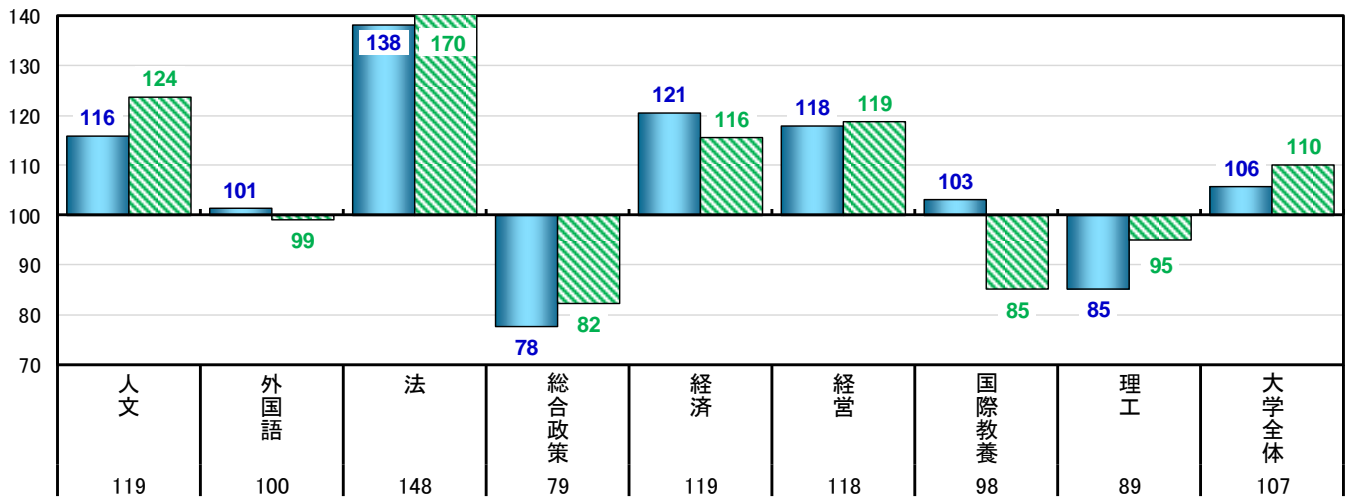


南山大：大学全体では5年ぶり増加、一般、共テともに増加

一般：+826人 共テ：+727人

※前年度の志願者数を100とする指数
 ※学部名の下の数値は学部全体の指数

■一般方式 ■共テ利用方式



主な入試変更点

選抜方法：外国語(スペイン・ラテンアメリカ)〈一般・一般〉
 …(スペイン・ラテンアメリカ/スペイン)14人、(スペイン・ラテンアメリカ/ラテンアメリカ)14人→学科全体で28人
 (アジア)〈一般・一般〉…(アジア/東アジア)14人、(アジア/東南アジア)10人→学科全体で24人
 (フランス)〈一般・一般〉…(フランス/フランス文化)13人、(フランス/フランス社会)13人→学科全体で26人
 (ドイツ)〈一般・一般〉…(ドイツ/ドイツ文化)14人、(ドイツ/ドイツ社会)12人→学科全体で26人
 募集人員：法(法律)…〈一般・一般〉150人→135人

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、1,553人(107)のやや増加で5年ぶりに増加。学部別では、8学部中5学部で増加。特に、法(148)、経済(119)、人文(119)、経営(118)が大幅増加。方式別では、一般方式は826人(106)のやや増加で、3年ぶりに増加。共通テスト利用方式727人(110)は2年連続増加。〈共テ・前期〉、〈共テ・後期〉のいずれも共通テスト受験後に出願可能なので、共通テストの平均点ダウンの影響を加味した合格目標ライン予想をもとにした出願が可能だったことも影響。

〈一般方式〉

- 人文(116)は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。学科別では、4学科全て増加で、(日本文化)(119)、(人類文化)(119)は大幅増加、(キリスト教)(114)、(心理人間)(111)は増加。
- 外国語(101)は、2年連続減少の反動は小さく微増。学科別では、(ドイツ)(125)、(アジア)(116)は大幅増加。一方で、他の3学科はいずれも減少で、特に(スペイン・ラテンアメリカ)(83)は大幅減少。
- 法(138)は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。さらに、募集人員が13人(7%)の減少なので、志願倍率は8.2倍→12.2倍にアップ。方式別では、〈全学統一・個別学力文系型〉(162)は激増。
- 総合政策(78)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。
- 経済(121)は、3年連続減少の反動で大幅増加。方式別では、全方式で増加。特に、〈全学統一・個別学力文系型〉(151)、2教科型の〈一般・B方式〉(123)は大幅増加。
- 国際教養(103)は、やや増加で2年連続増加。方式別では、〈全学統一・個別学力文系型〉(124)は大幅増加。
- 理工(85)は、4年連続増加の反動で大幅減少。学科改組2年目だが、学科別では4学科中3学科が減少。特に(データサイエンス)(68)、(ソフトウェア工)(80)は大幅減少、(機械システム工)(86)は減少。一方で、(電子情報工)(109)は増加。

〈共通テスト利用方式〉

- 人文(124)は、大幅増加。学科別では、4学科中3学科が増加。(人類文化)(137)、(日本文化)(123)、(心理人間)(115)はいずれも大幅増加。一方で、(キリスト教)(89)は減少で、5年連続減少。
- 外国語(99)は、前年度大幅増加の反動は小さく微減。学科別では、5学科中3学科が減少。(スペイン・ラテンアメリカ)(84)は大幅減少、(フランス)(87)は減少、(ドイツ)(94)はやや減少。一方で、(アジア)(118)は大幅増加、(英米)(103)はやや増加。
- 法(170)は、前年度大幅減少の反動で激増。志願者数は5年ぶりに1,000人を上回った。方式別では、前年度全方式で減少だったが、全方式で激増に転じた。特に、〈共テ・後期〉(210)は倍増以上。
- 総合政策(82)は、前年度増加の反動で大幅減少。志願者数は600人を下回った。方式別では、〈共テ・前期3教科型〉(65)の大幅減少が目立った。
- 国際教養(85)は、前年度増加の反動で大幅減少。方式別では、〈共テ・前期5教科型〉(70)は前年度大幅増加の反動で大幅減少。
- 理工(95)は、前年度大幅増加の反動は小さく、やや減少。学科別では、4学科中3学科が減少。(データサイエンス)(76)は大幅減少、(ソフトウェア工)(99)、(電子情報工)(99)はそれぞれ4人のみ微減。一方で、(機械システム工)(109)は増加。